

情報コーナー

ジェンダー問題をはじめ、仕事、DV、こころと生き方など、男女平等参画に関する様々な分野の図書・雑誌・行政資料を収蔵し、図書の貸出を行っています。また、他自治体が開催する講座チラシや女性の就労を支援するパンフレットなども収集・提供しています。

国や東京都、他自治体、民間団体などが発行する資料を収集しています。



区内の図書館では所蔵していない雑誌などを揃えています。

- ・「We learn」・「女性展望」
 - ・「くらしと教育をつなぐWe」
 - ・「女性情報」・「共同参画」
 - ・「男女共同参画白書」
- ※閲覧のみ

絵本や児童向けの図書もあります。



男女共同参画週間などにあわせて、関連のある図書を集めた特集コーナーを設置しています。

都内の男女共同参画推進施設の発行する情報誌なども閲覧できます。

プラザのホームページでは、「新着図書案内」を掲載しています。

「はばたき21」情報コーナーおすすめ図書案内

パンでわかる包括的性教育
入学前までにやっておきたい！
将来のための30のこと



磯みゆき文 ニシワキタダシ絵
小学館クリエイティブ

からだ、ジェンダー、同意、人権など様々な内容を含む包括的性教育について、多様性を感じられるパンを案内役として解説する。

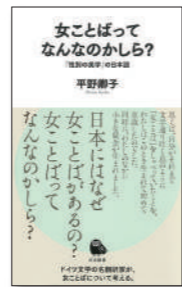
1980年、女たちは「自分」を語りはじめた
フェミニストカウンセリングが拓いた道



河野貴代美著 幻冬舎

日本にフェミニストカウンセリングの理論と実践を導入し、根づかせた著者が、カウンセリングに関する歴史や意義を紹介する。

女ことばってなんなのかしら？
「性別の美学」の日本語



平野獅子著 河出書房新社

日本にはなぜ女ことばがあるのか？「女ことば」を手がかりに、何気なく使っていることばをジェンダーの視点から見つめ直す。

情報誌

『はばたき21通信』(年2回、8月・3月発行)では、多くの方に知ってほしい問題やそれに関する区の取組、プラザで開催した講座のレポートや新着図書などを紹介。3月号は、区民による情報誌編集委員会と協働で作成しています。



プラザでの配布のほか、ホームページにも掲載しています。

パネル展

「男女共同参画週間」(6月23日～6月29日)、「女性に対する暴力をなくす運動」(11月12日～11月25日)、「若年層の性暴力被害予防月間」(4月)の期間中、生涯学習センター1階アトリウムにてパネル展示を行っています。



「男女共同参画 新時代」(ウィルあいち情報ライブラリー作成)を展示しました。

今年の「男女共同参画週間」でのパネル展



学習

情報

プラザの機能

活動

相談

一人ひとりが自分らしく生きる社会をめざして

男女平等推進プラザ「はばたき21」ではこんな事業を行っています

誰もが性別にかかわらず、個人として尊重され、喜びと責任を分かち合い、多様な生き方が選択できる男女平等社会。そうした社会の実現に向けて、プラザは様々な事業に取り組んでいます。

男女平等参画に関する情報や学びを提供しています

講座

男女平等参画やジェンダーにもとづく問題を身近なものとして考えていただくために、女性の参画や貧困、ワーク・ライフ・バランス、男性問題、防災、健康、DV防止など多様なテーマを扱った講座を実施しています。



家庭や職場などで日頃感じるモヤモヤやイライラ…。そのワケに気づいたり、解決のためのヒントを学んだり。暮らしに役立つスキルを身につけるような講座も実施しています。

今年度の講座ラインナップ

- 7/22 (土) みんなで考えよう！ジェンダー平等とSDGs
- 8/19 (土) アンガーマネジメント講座
- 10月 健康に関する講座
- 11月 シニアシングル女性のための生活設計講座
- 12月 男性の育休に関する講座
- 1月 男性の生き方・悩みに関する講座
- 2月 災害時の料理に関する講座
- 3月 海外の女性事情に関する講座



②の講座の様子

※③～⑧は詳細決定後、「広報たいとう」などでお知らせします。

講座レポート

『対等で、尊重し合える関係を築く、「性」のはなし～性的同意について考えてみよう～』

4月の若年層の性暴力被害予防月間にあわせて開催

- 日時：2023年3月11日(土) 10:00～12:00
- 講師：染矢 明日香さん
(性の健康啓発を行う NPO 法人ピルコン理事長)



被害者の尊厳を著しく踏みにじり、その心身に重大な影響を及ぼす性暴力。今年3月に実施した講座では、性暴力の被害者にも加害者にもならないためにはどうすればよいのかを、性の健康と権利に関する活動に取り組む染矢明日香さんにお話していただきました。

性暴力の現状から始まり、人権尊重を基盤とした包括的性教育の必要性と、子供や若者への伝え方などを伺い、性暴力や性被害にあわないための知識について、まずは大人が学び、ふだんの生活の中で繰り返しきちんと子供たちに伝えることの大切さを感じました。

◆ 参加者の声 ◆

- ・伝えにくい性の話をとてもわかりやすくお話ししていただきました。
- ・今回のお話が、もっと多くの人に届いたらいいなと思います。